



洗心

村山市立袖崎小学校
学校だより
No.23

令和8年3月26日発行

人はなぜ学ぶのか～3月18日卒業証書授与式 式辞より～



6年生のみなさん、ご卒業おめでとうございます。

みなさんの姿でまず思い浮かぶのは、授業に向かう真剣なまなざしです。話をよく聞き、友達と相談しながら、よりよい答えを見つけようと、いつも一生懸命に学んでいました。

また、最上級生として、どんな小さなこともゆるがせにせず、「どうすればもっとよくなるか」「どうすればみんなが楽しむことができるか」ととことん話し合い、活動を進めました。中でも、運動会の粘り強い応援や、ダンスフェスティバルで見せた圧巻のダンス、縦割り活動中に下級生をやさしくたしなめる姿は、今でも目に焼きついています。



常に挑戦し、熱い思いでやり抜くその背中には、下級生の憧れでした。温かく、強い袖崎小学校をつくってくれて、本当にありがとうございました。

さて、いつも真剣に学んできたみなさんだからこそ、こんな疑問を持ったことがあるかもしれません。「どうして、こんなに勉強するのだろうか」と。

その答えを一言で言うなら、世界を知り、自分を知るためです。学校で学ぶことは、世界の縮図のようなものです。時には興味を持っていないこともあるでしょう。しかし、自分には関係ないと決めつけずに、学び続けることで、世界は少しずつ広がっていきます。



例えば、袖崎の歴史を知れば、いつも歩いている道も、違って見えてきます。そこには、たくさんの人の暮らしや思いが積み重なっていることに気づくでしょう。



知識は、世界の見え方を変えてくれるのです。

そしてもう一つ。知識は、想像力の源でもあります。

人が誰かを傷つけてしまうとき、それは相手の気持ちを想像できないときです。けれども、学びによって知識を得れば、人は相手の立場を思い描き、思いやることができます。学ぶことは、自分のためだけではありません。

人とともに、よりよく生きていくためでもあるのです。

みなさんの前には、新しい世界が広がっています。そこには、きっと多くの出会いと出来事が待っていることでしょう。時には、思うようにいかないことや、壁にぶつかることがあるかもしれません。そんなときは、思い出してください。これまで、たくさんのことに挑戦し、やり抜いてきたことを。大切なのは、今、目の前にあることに、心を込めて向き合うことです。困ったら、勇気を出して、周りの人に「助けて。」と言いましょ



う。「助けて。」と言える人は強い人です。そうして壁を乗り越えることができたなら、支えてくれた人に感謝し、次はあなたが、誰かに手を差し伸べてください。



この洗心学校で心を磨いたみなさんは、これからも真剣に学び続け、人と誠実な関係を築き、豊かな人生を歩んでいくと信じます。さあ、胸を張って旅立ちましょう。

校長 高橋 郁子



私たちの道しるべ「洗心」

3月17日の修了式、改めて「洗心学校」について考え、令和7年度を振り返りました。山形県初代県令三島通庸が名付けた「洗心学校」。校歌の歌詞には、「私達は、露の玉のように澄んだ、清らかな『洗心』を規準として美しい行いをします」という決意が込められています。

今年度のテーマ「洗心の学び—挑戦し、やり抜く—」の児童アンケート(3月)では、「いろいろなことに挑戦している」では、97.7%の人が、「最後まで粘り強く取りんでいる」では、93.1%の人が、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と答えています。ここから、この1年、子どもたちがいつもテーマを心に置いて生活してきたことがわかります。それは、大人でも非常に難しいことです。驚くべき心の強さに拍手を送ります。

春、白鳥が北へ向かって帰っていきます。Vの字になって飛ぶのは、空気の流れを作って、楽に長い距離を飛ぶためだそうです。先頭を飛ぶのがリーダー、風を受けて一番大変です。まるで、率先して前に出る6年生のようです。大変なので、ときどきリーダーを交代するそうです。なんだか、やさしく、頼りになる5年生のようです。まだうまく飛べない鳥、疲れてついていけない鳥がいたら、みんなで助けながら飛ぶのだそうです。まるで袖崎小学校の子どもたちのようです。洗心学校とは、洗心の精神で生きる子どもが育つ学校です。一人一人の「挑戦し、やり抜く」行いが、袖崎小学校を「洗心学校」にします。多くの先輩方が大切にしてきた「洗心」を道しるべとして、これからも頑張ってください。

教職員の転出入のお知らせ

今年度の人事異動により、以下のように職員が退職・転出・転入します。

【退職・転出職員】

校 長	<small>たかはし</small> 高橋	<small>いくこ</small> 郁子	山形市立第八小学校へ	(本校勤務2年)
教 諭	<small>ひらた</small> 平田	<small>ちづる</small> 智鶴	退職	(本校勤務1年)
主 事	<small>たかはし</small> 高橋	<small>かおる</small> 薫	退職	(本校勤務1年)

【転入職員】

校 長	<small>いしがき</small> 石垣	<small>たけお</small> 岳郎	村山市立富本小学校より
講 師	<small>いとお</small> 飯尾	<small>みなみ</small> 南美	東根市立小田島小学校より



ご理解とご協力に深く感謝いたします

そでさき元気っ子様から、今年度も卒業式のステージを飾る鉢花(サイネリア)をいただきました。これらを初めとして、今年度も、保護者の皆様、地域の皆様には大変お世話になりました。一人一人の子どもを地域の宝として、愛情をもって見守り育ててくださり、学校を力強く支えてくださったこと、決して忘れません。改めて深く感謝申し上げます。私自身も、宝物のような2年間を過ごさせていただき、本当にありがとうございました。4月からは、新しいメンバーとなりますが、引き続きどうぞよろしくお願いいたします。

